

第 23 回 Climate Youth Japan (第 43 号)

私たち Climate Youth Japan (CYJ)は 2009 年にデンマークのコペンハーゲンで行われた COP15(第 15 回気候変動枠組条約締約国会議)への参加を機に発足しました。COP とは地球温暖化を阻止するための取り決めが話し合われる国際会議です。二酸化炭素排出削減に関する取り決めである京都議定書もこの会議から生まれました。そのような国際会議の場に毎年、様々な想いをを持った若者が世界中から集まってきます。特に温暖化被害が顕著に表れている途上国の若者は先進国へ向けて強いメッセージを発信しています。そのような同世代の若者との交流を通して、COP 会議における日本の若者の存在感の薄さを痛感させられました。

持続可能な社会の構築のためには私たち若い世代が未来のために声をあげなければいけないという思いを持ち、気候変動問題に関するセミナーの開催や COP 会議に合わせて声明文を作成し、省庁への提出などの活動を行っています。災害、原発事故のあった今年度は防災教育の団体と協力してエネルギー問題を考えるセミナーを開催したり、原発から自然エネルギーへのシフトを願う声明文の提出を行いました。

私たちの団体の特徴はほとんどが COP 会議参加者であるということです。海外で出会ってから一緒に行動を始めたため、メンバーの拠点は仙台から山口までバラバラです。普段は skype を使用したオンラインでミーティングを行っています。また現場(COP 会場)での活動にも重点を置いています。国際会議には様々な人々が参加していて、中には研究目的で来ている人もいますが、私たちは専門知識が足りなくても現場に足を運び、自分たちの訴えをアクションで示すことで、世界中の人に考えを伝えたいと思っています。2010 年はメキシコ・カンクンへ、2011 年は南アフリカ・ダーバンへと若者を派遣しました。

国際交渉という場で私たち若者が与えられる影響力は本当に小さいものです。しかし、だからといって何もなくてよいわけはなく、未来世代に豊かな地球を残すためにも思いを発信し続けなければなりません。2050 年にあなたは何歳でしょうか？ あなたの横に寝ているお子様は何歳でしょうか？ その子のためにどんな地球を残せばよいのでしょうか？ 現状のままでは今後 100 年の間に、温暖化の影響による地球規模での重大な動植物の絶滅や食糧生産能力の低下、健康被害が発生すると言われていています。もちろん世の中には他にも重大な社会問題が存在しています。私たちはその中で、国際会議の参加経験のある気候変動という分野で若者の立場から声を発していきます。

私たちの行動にはいくつかの課題があります。気候変動という絞った分野であり、さらに「国際交渉を追求」というイメージのしにくい活動内容のため興味の弱い人に伝えるのが難しいということです。また、セミナー開催や国際会議参加のための資金集めにも苦戦しています。私たちの活動の興味を持ってサポートしたい、関わってみたいという方は下記にご連絡をお願いいたします。また、活動情報を得たい方は CYJ の HP より ML(メーリングリスト)の登録をお願いします。

ホームページ <http://climateyouthjapan.org/>